

第4回日中韓鑑定評価協力会議 開催報告

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会
国際委員会

去る9月20日(金)、横浜市“みなとみらい”において、日本、中国、韓国の鑑定業界における現状と今後の展望に関する相互理解を図り、また3ヵ国間の交流を深めることを目的とする「第4回日中韓鑑定評価協力会議」が、国土交通省のご後援のもと、一般社団法人神奈川県不動産鑑定士協会、関東甲信不動産鑑定士協会連合会のご協力をいただきながら開催いたしました。

開会式においては、ご来賓の黒岩祐治神奈川県知事、鳩山正仁国土交通省土地・建設産業局次長、小池政則横浜市都市整備局長からのごあいさつに続き、吉村会長をはじめとする3ヵ国代表からのあいさつが行われました。



左から、黒岩知事、鳩山次長、小池都市整備局長、吉村会長

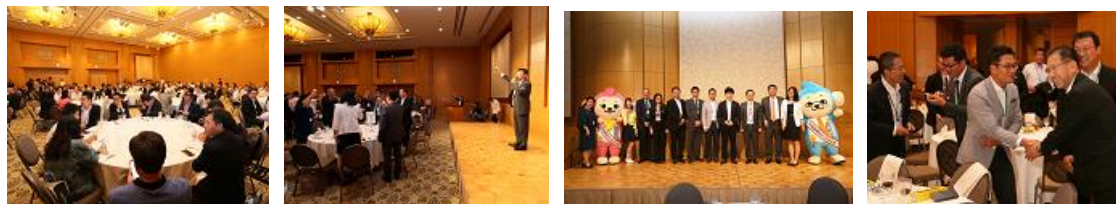
続いて本会議に入り、メインテーマとして掲げられた「先進技術で切り拓く不動産の未来像」に沿い、まずは、村上周三氏（一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長）による基調講演が行われ、2部構成の分科会では、それぞれに「先進技術と不動産」「シェアリングエコノミーと不動産」を課題として、3ヵ国のスピーカーから研究成果が発表されました。



会議終了後、歓送晩餐会までの間は、神奈川県不動産鑑定士協会の会員の方々により、厳かな空気の流れる中、気迫のこもった居合演武が披露されました。



歓送晩餐会においては、3カ国の参加者が和やかに交流を重ね、不動産鑑定士 PR 大使であるアプレイざるちゃん、コンさるくんのダンス、口笛奏者として活躍されている村上幸二郎常務理事による演奏、人気の大道芸である津軽三味線ユニットセ三味ストリートが鳴らす肉体派津軽三味線と数々のパフォーマンが披露され大いに沸きあがり、神奈川県不動産鑑定士協会の坂本圭一会長が閉会あいさつの中で、次回 2 年後の開催地である中国成都市での再会を約束し、盛会裏に幕を閉じました。



※ 本会議の詳細は、「鑑定のひろば」209号（令和2年1月発行）において、報告の予定です。

【開催概要】

1. 参加団体

- ・ 日 本 公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会（JAREA）
- ・ 中華人民共和国 中国房地产估价师与房地产经纪人学会（CIREA）
- ・ 大韓民国 韓国鑑定評価士協会（KAPA）

2. 開催日・場所

- (1) 開催日 令和元年9月20日(金)
- (2) 開催場所 横浜ベイホテル東急
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-7

3. テーマ 先進技術で切り拓く不動産の未来像

4. 内 容

- (1) 基調講演 ESG/SDGs 時代における不動産の動向 — 横浜市の取組とCASBEE-ウェルネスオフィスの開発 —

村上 周三 氏

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構理事長

(2) 分科会

- ① 第一分科会 先進技術と不動産
- ② 第二分科会 シェアリングエコノミーと不動産